

あの頃は・・・

10周年記念を振り返る

『僕らが祝う 10 周年～当時の新聞記事より～』

先日、50周年に向けて資料を探していると、古いアルバムの中から一枚の新聞記事の切り抜きが出てきました。内容は今から約40年前の大垣養護学校開校10周年記念にかかわる内容でした。

○以下記事の要約

昭和59年に大垣養護学校(現：大垣特別支援学校)の創立十周年行事が行われた。

岐阜県立大垣養護学校は昭和49年4月県下初の県立養護学校として、小学部20学級、中学部4学級、児童、生徒数77人で開校された。また55年4月には高等部が開校した。

記念行事は3日間に渡って行われ、初日には記念式典、中学部1年生が「りょうかんさま」の劇発表、小学部から高等部までの30人が鼓隊演奏披露、折りたたみいす・本立て・大理石を磨いたペンダント・コーヒーカップなどの作品の即売会が行われる。

2日目に、中学部や高等部による「ブレーメンの音楽隊」「しらゆきひめ」などの劇発表が行われ、大垣市立西中学校交流学习も行われる。

3日目には、小学部と訪問学級で「ほってもいいかな?」「おおきなかぶⅡ」などを力演。大垣市立日新小学校と交流学习も行われる。

小学部、中学部、高等部、訪問学級の児童生徒は10周年記念行事に向けて1カ月間一生懸命練習を積み重ねてきた。大張り切りで最後の仕上げに取り組んでいる。

大垣市立西中学校、大垣市立日新小学校とは、現在も交流が続いています。劇発表も小学部を中心におおとばフェスタで行われ、様々な活動が受け継がれていることを実感しました。